

ウメ、モモ、スモモ等（植木・盆栽や庭木を含む）  
の栽培や販売等を行っているみなさまへ

## ウメ輪紋ウイルス（フラムボックスウイルス、通称PPV）に ご注意ください！！

- ウメ輪紋ウイルスは、ウメ、モモ、スモモなどに感染し、成熟前の落果や、果実の表面に斑紋が現れ商品価値が失われることにより減収する恐れがあります。
- ウメ、モモ、スモモは和歌山県の主要な農業生産品目であり、本ウイルスが発生した場合、本県農業にとって深刻な影響が出ると考えられます。
- このウイルスはアブラムシにより媒介されるほか、穂木を經由して感染します。感染した植物の苗木や穂木などの移動により、発生地域が広がります。
- 国内では平成21年4月に東京都青梅市で初めて発生が確認されて以降、神奈川県、茨城県、埼玉県、滋賀県、大阪府、奈良県、兵庫県で感染樹が確認されています。（本県では、今のところ感染樹は確認されておりません。）
- 感染樹は、果樹園だけでなく、公園や寺社、住宅の庭木などでも多く確認されています。



ウメ葉の症状



ハナモモ葉の症状



ウメ葉の症状(寄せ植え)

\* 写真は植物防疫所原図

### 症状

- ウメ輪紋ウイルスに感染したウメやモモでは、葉に緑色の薄い部分ができる症状（退緑斑紋）やドーナツ状の模様ができる症状（輪紋）などがみられます。
- ウメの花弁では薄赤色の斑入りの症状がみられます。
- 果実では、表面にやくぼんだ輪紋を生じたり、早期に落果することがあります。

**このような症状に気づいたら、下記まで早急にご連絡ください！**

- 和歌山県農林水産部 農業環境・鳥獣害対策室

TEL: 073-441-2905

E-mail: e0703002@pref.wakayama.lg.jp

- 和歌山県農作物病虫害防除所 紀の川駐在（果樹試験場かき・もも研究所内）

TEL: 0736-73-2274

E-mail: e0703071@pref.wakayama.lg.jp

- 和歌山県農作物病虫害防除所 みなべ駐在（果樹試験場うめ研究所内）

TEL: 0739-74-3780

E-mail: e0703081@pref.wakayama.lg.jp

・このウイルスは、種子や果実から他の樹に感染することはありません。

・ヒトや動物に感染することはありませんので、果実を食べても健康に影響はありません。